【HP】 【Instagram】 【活動計画】
【加納西サッカー部はこんな場所です】
①自宅の近くでスポーツができる
②地域の仲間と交流できる
③親子で一緒にサッカーができる
加納西スポーツ少年団サッカー部
KANONISHI FOOTBALL
部員随時募集中 お気軽にお問い合わせください
問合先 soccer.kanonishi@gmail.com

加納西スポーツ少年団サッカー部は、加納西小（27名）・三里小（18名）・加納小（6名）・岐阜大学附属小（7名）、その他小学校／未就学（6名）の計64名の子ども達が在籍し、加納西小学校グラウンドで活動しています。

創部1974年の歴史あるサッカー部です。競技力向上や試合を頑張る「チャレンジコース」・スポーツやサッカーを楽しむ「エンジョイコース」の2つのコースで、誰もが楽しめるクラブを目指しています。

U10岐阜市サッカー大会 第3位

U9に続きメダル獲得!!! ３位決定戦は大雨の中、4-1で完勝！！！


7/12 予選リーグ（大桜グラウンド）


7/18 決勝トーナメント（SHOWAスポーツピアザ）







加納西スポーツ少年団サッカー部 発行
加納・三里サッカー新聞
2号
発行日
2026年8月

焼肉ざくろ
企画・デザイン・印刷
地域に根差した印刷事業
株式会社 南進社
岐阜の注文住宅・分譲住宅・賃貸事業なら
FRONTIER HOME
Regolith

優勝：スペイン
MVP：ロドリ(西)
得点王：エムバペ(仏)

スポンサー募集
オリジナルピブス 10 枚
を作成してみませんか。
★企業名、店舗名記載
★HP、SNS 等でご紹介
★地域貢献、イメージ UP
★一口 30,000 円
★ご支援お願い致します

選手の個人技術・個人戦術の向上を実感

岐阜市U10大会が7月12日に予選・7月18日に決勝トーナメントがおこなわれ、加納西スポーツ少年団サッカー部が3位となった。

15チームが参加した今大会は、4グループでの予選と各グループ上位2チームが決勝トーナメントに進出する大会形式でおこなわれ、加納西は同グループの長森・高富・トレイスの3試合、11得点1失点で全勝し、1位で予選を突破した。

決勝トーナメント1回戦では明郷に3-0で勝利し、準決勝では鶉と対戦した。試合開始早々に先制するも後半に逆転され1-3で敗れた。突然の大雨が降る中で始まった茜部との3位決定戦では、粘り強い守備で流れをつかみ、素早いドリブル突破と力強いシュートで得点を重ね、後半に4点を奪って快勝した。

選手は「サッカーが楽しく、チームの活動がない日は自分たちで朝練習をしている。「自分の好きなことでメダルが取れて嬉しい」、「次の大会では金メダルをとれるように、毎日の過ごし方を考えていきたい」、「最近うまくなっている実感がある」と語った。

今大会ではFW・MF・DFの3ラインを構成し、隣り合うポジションの選手とのペアを意識して、お互いがカバーできるよう守備を行った。攻撃面では、プレーの優先順位をもとに、背後へのスルーパスやドリブルでの突破が見受けられた。攻守ともに選手の特徴が発揮できていたように感じる。

選手それぞれの個人技術・個人戦術ともに上達している様子が見られる大会となった。

長良西と練習試合 大所帯でも工夫して運営

【キッズ/U7-8】

7月26日に加納西小学校を会場として、キッズ（未就学児）～U8までの低学年を対象とした練習試合を行った。

かねてから交流のある長良西スポーツ少年団サッカー部のU8・U7を招き、5人制コートを3コート使用し、大人数でサッカーを行った。弊部はU8が14名・U7が16名登録されており、県内でも指折りの人数を誇るチームとなっている（U9は19名の登録）。

当日はU8を2チーム・U7&キッズを3チームに分け、お父さんコーチを各チームに2人ずつ配置し、極力休みの時間がないようスムーズに運営を行った。はじめて対外試合をする選手が少なくないが、ルール等を子ども達の中で少しずつ確認しながら、誰もが楽しめる環境を子どもたち自身で創り上げた。

子ども達は「もっと試合をしたかった」・「試合に勝ったり、ゴール決めたりしたよ」と嬉しそうにお父さんやお母さんに話をしていた。

弊部では指導者ライセンスを取得してから選手への指導を行う方針で活動している。どんなに小さな子どもでも大人の言葉が成長を左右するという自覚をもって日々研鑽している。



日本サッカー協会公認 Cライセンスコーチ取得

サッカー未経験のお母さんコーチ

昨年度Dライセンスを取得したお母さんコーチが、4月から開講されたCライセンスコーチ養成講習会に挑戦し合格した。これにより岐阜県内で女性の有効なCライセンス保持者数は18人となった。

同講習会の内容は、「基礎Ⅰ」として位置づけられ、実際にサッカーを行う「実技」、プレー分析からトレーニング・コーチングを行う「指導実践」、チームマネジメント等の「講義」を約2か月間学習した。

「私はサッカーの経験はなかったけど、大人になってからフットサルを始めました。子どもたちが一生懸命頑張っている姿を見て、『私もサッカーを学んでみよう』と思い、Cライセンスコーチ養成講習会に挑戦しました。これからも一緒に頑張りましょう！」Cライセンスを取得したお母さんコーチは、このように選手たちへ語りかけた。弊部では、指導者たちが子どもたちと同じ目線に立ちながら、自身も日々学びを深め、指導力の向上に努めている。選手だけでなく指導者も挑戦を続け、ともに成長する姿を示すことが、子どもたちにとって大きな学びや励みとなっている。


2026/1/10 Dライセンス講習会

弊部では各家庭に指導者ライセンスの取得を推奨している。「各家庭で様々な考え方があるが、同じ内容を学ぶことで目指す方向が揃う」・「サッカーの現場ではなく日常の子育てに生かせる」等活動理念の共有や日常の子どもの接し方において重要な学びになっている。



理念 サッカーを通して豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。
ビジョン サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、人々が幸せになれる環境を作り上げる。
常にポジティブな態度で何事にも臨み、自信に満ち溢れた立ち振る舞いのできる人間を育成する。
常にフェアプレーの精神を持ち、様々な人々と友好を深め、地域社会に貢献する。
目標 勝利を目指し全力でプレーします！
ポジティブな言葉をつかいます！
どんな時もサッカーを楽しみます！